

答申書の訂正について

【医科－入院料等－52/72】

A302 新生児特定集中治療室管理料の「注1の見直し」の改正案について

誤 …及び区分番号303-2に掲げる新生児治療回復室入院…



正 …及び区分番号 A303-2に掲げる新生児治療回復室入院…

【医科－入院料等－72/72】

A400 短期滞在手術基本料の「注3の見直し」の改正案について

誤 マ 麻酔管理料（Ⅱ）
区分番号 L O 1 0 に掲げるもの



正 マ 麻酔管理料（Ⅱ）
区分番号 L O 1 0 に掲げるもの

※1字下げる。

【医科－医学管理等－12/23】

B005－2 地域連携診療計画管理料の「注3の見直し」の改正案について

誤 …救急搬送患者地域連携紹介加算又は区分番号B003に掲げる…



正 …救急搬送患者地域連携紹介加算、区分番号B003に掲げる…

【医科－医学管理等－13/23】

B005－3 地域連携診療計画退院時指導料の「注5の見直し」の改正案について

誤 …救急搬送患者地域連携受入加算又は区分番号B003に掲げる…



正 …救急搬送患者地域連携受入加算、区分番号B003に掲げる…

【医科－検査－別1－22/41】

新区分番号D015の18の新検査項目名について

誤 ヒトTRAC



正 ヒトTARC

【医科－処置－3/5】

J011 骨髄穿刺の【点数の見直し】の改正案について

誤 2 その他 150点 → 300点



正 2 その他 150点 → 280点

※ 骨髄穿刺については、処置(J011)と検査(D404)に項目があり、同じ点数としているもの。今般、検査(D404)については、150点から280点に引き上げることとしている。(医科－検査－別1－40/41 参照)

【医科－手術－別1－31/84】

旧区分番号338－2 鼻甲介切除術(高周波電気凝固法によるもの)の改正前の点数について

誤 1,520 → 削除



正 900 → 削除

旧区分番号K3523 副鼻腔炎術後後出血止血法の新旧区分番号について

誤 K3523



正 K352－3

【医科－手術－別1－35/84】

新区分番号K403-2の1～4の新区分番号について

○ 誤

K403-2	
<u>K403-2</u>	1
<u>K403-2</u>	2
<u>K403-2</u>	3
<u>K403-2</u>	4



○ 正

K403-2	
	1
	2
	3
	4

【歯科－在宅医療－2/7】

C000 歯科訪問診療料の「注9の見直し」の改正案について

○ 誤

…処置、手術、歯冠修復又は欠損補綴が必要な…



○ 正

…処置、手術、歯冠修復及び欠損補綴が必要な…

【歯科－注射－2/2】

G005－3 末梢留置型中心静脈カテーテル挿入術(新設)の名称について

誤 末梢留置型中心静脈カテーテル挿入術



正 末梢留置型中心静脈注射用カテーテル挿入

【DPC－本文－2/3】

本文第1項の「項目の見直し」の第3号の改正案について

誤 K697－5 生体部分肝移植
...
K922 骨髓移植術
K922－2 臍帯血移植



正 K697－5 生体部分肝移植術
...
K922 造血幹細胞移植

※ 平成22年度改定では、K922とK922-2は1つのKコードに統合されるとともに、名称が「造血幹細胞移植」に変更される。

【DPC－別添1－10/56】

番号 339 について

誤	番号	診断群分類番号	傷病名	…	入院期間 I	入院期間 II	入院期間 III
	339	040040xx9,907x	肺の悪性腫瘍	…	12,095	4,230	3,596



正	番号	診断群分類番号	傷病名	…	入院期間 I	入院期間 II	入院期間 III
	339	—	—	…	—	—	—

※ 当該分類は、肺の悪性腫瘍に対しベバシズマブを投与した場合の分類であるが、ベバシズマブの適応が肺の悪性腫瘍に拡大されたのは平成 21 年 11 月であったにもかかわらず、それ以前のデータを機械的に用いて包括点数を設定していたことが判明したため、再度データを確認の上、今般、出来高評価に訂正する。

具体的には、大腸がん(転移性肺がんを合併)など別の主病に対してベバシズマブを使用した症例が当該分類として振り分けられていたため、これらを除き、再分析したところ、出来高評価となった。

【DPC－別添1－27/56】

番号 913 及び 914 の手術名について

誤 腭体尾部腫瘍切除術 腭尾側切除術(腫瘍摘出術を含む。)の場合等



正 腭体尾部腫瘍切除術 腭尾部切除術(腫瘍摘出術を含む。)の場合等

【DPC－別添2－5/5】

機能評価係数Ⅱの地域医療指数の評価方法について

誤 (平成 23 年8月より評価)



正 (平成 22 年8月より評価)